

「R5・明治神宮奉納演武会」

立冬を1週間後に控えた11月3日（金）文化の日は晴れの特異日でもあるらしい、11月に入っても25度を越える夏日の記録更新中で暑い日。

明治天皇の誕生日に催される祭事 “秋の大祭”の会場は都心の喧騒を忘れさせる。神宮西参道沿芝地はコロナ5類移行により以前の賑わいを取り戻し一般解放の中で、流鏑馬・合気道・弓道大会等々と我々が参加する 日本古武道振興会が担当する古武道大会に、田宮流から宗家を含め8名が参加しました。

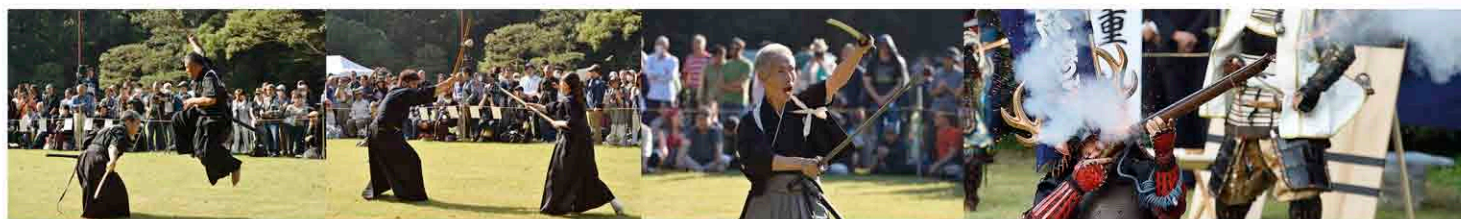


全国から59 流派340余名が集い、剣術を中心に、十手術、薙刀術、鎖鎌術、砲術など珍しい武術も含め日頃鍛錬した妙技を奉納しました。

田宮流は第2会場13時50分予定だが20分程早まって会場入しました。

宗家を先頭に一列縦隊で入場、作法通り神前の礼・立の刀礼帯刀後、先組は、興石・三宅・末廣・森木剣士が基本技から稲妻・押抜・除身・胸之刀・廻掛の五本を抜き、後組は宗家・小野・吉池・清水剣士が虎乱の巻から立業で刀合切・水鏡・左鐵・富士山・松風・夜嵐の六本を抜き、それぞれが精一杯の奉納演武を行いました。

芝会場はゴルフ場のグリーンと違い、雑草も多くその中に凹凸が、多く潜んでいて、道場とは違う足場の悪さに足運びに気を取られながら、暑さと相俟って大汗の演武となりました。



森重流砲術の銃士が放つ火縄銃の連射・一斉射撃は白煙と音に圧倒され最後に相応しい迫力のある終演でした。

演武者とカメラマンの二刀流の三宅さん、又応援とカメラマン助手の井上さん、三富さん、沙羅さん暑い一日、お疲れ様又御苦労様でした。

この稿が皆様のお手元に届く頃は秋を通り過ぎて寒いひが続くものと思われます。御身体にご自愛下さい。